

<日本経済の基調判断>

景気は、一部に弱い動きが続いており、
回復が緩やかになっている。

企業収益は改善。
設備投資は緩やかに増加。

個人消費は、持ち直しの動きがみられる。

雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善。

輸出は弱含み。
生産は横ばい。

(先行き)

- ・ 企業部門の好調さが持続しており、世界経済の着実な回復に伴って、景気回復は底堅く推移すると見込まれる。
- ・ 一方、情報化関連分野でみられる在庫調整の動きや原油価格の動向等には留意する必要がある。

<政策の基本的態度>

政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004」の早期具体化により、構造改革の取組を加速・拡大する。また、平成17年度予算、税制改正法案等の成立を受け、これらを着実に執行・実施する。

政府は、日本銀行と一体となって、重点強化期間におけるデフレからの脱却を確実なものとするため、政策努力を更に強化する。

今月の説明の主な内容

輸出は弱含み 消費に持ち直しの動き

企業の景況感に慎重さ

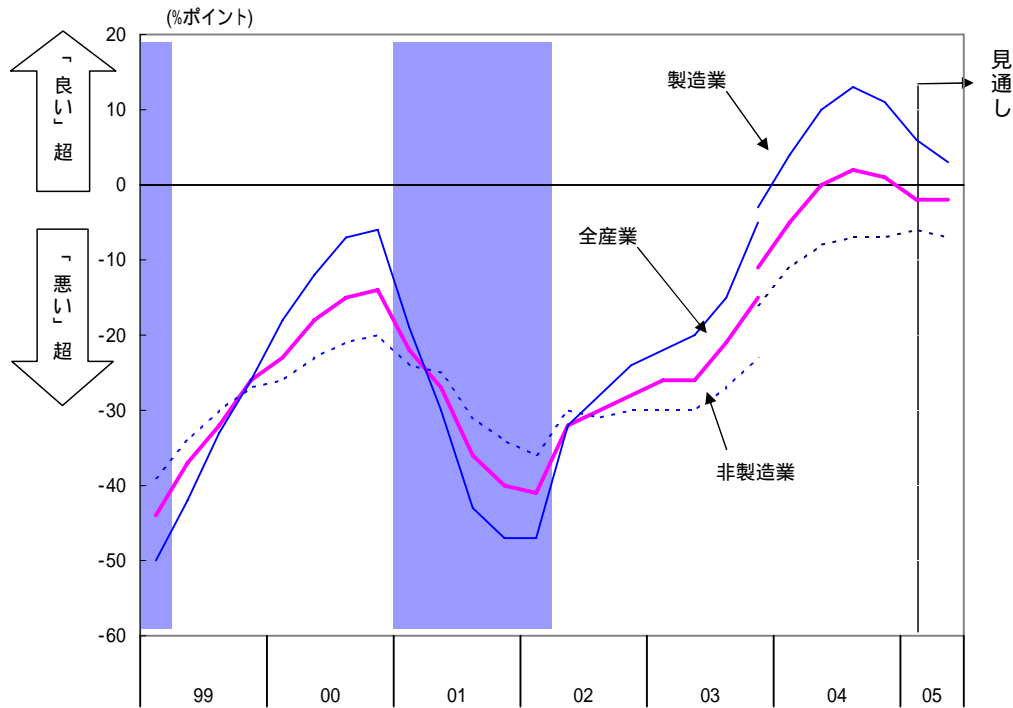
(1)企業の景況感のばらつき

背景 原油など素材価格の上昇
IT関連分野の調整
輸出が弱含み
サービスは堅調

(2)原油価格の高騰(リスク要因)

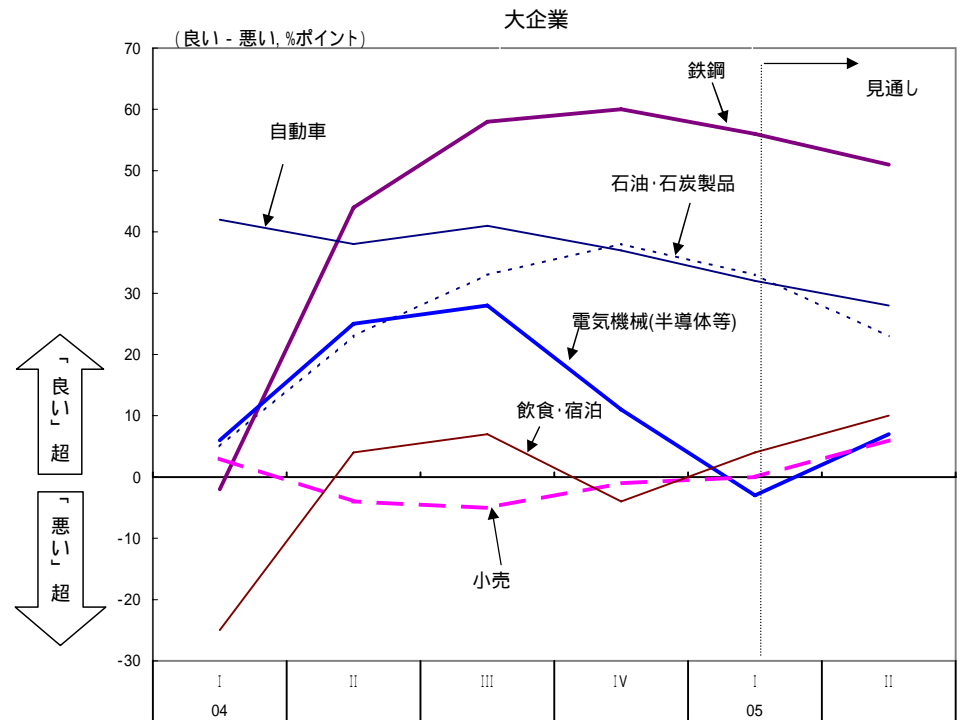
企業の景況感に慎重さ。業種間でまだら模様。

業況感：製造業で慎重さ、非製造業は堅調
（「良い」 - 「悪い」の割合）



- (備考)
1. 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」05年3月調査による。
D.I.は「良い」 - 「悪い」。全規模の値。
 2. シャド一部は景気後退期。
 3. 04年3月調査より調査方法が変更されている。

業種ごとにまだら模様

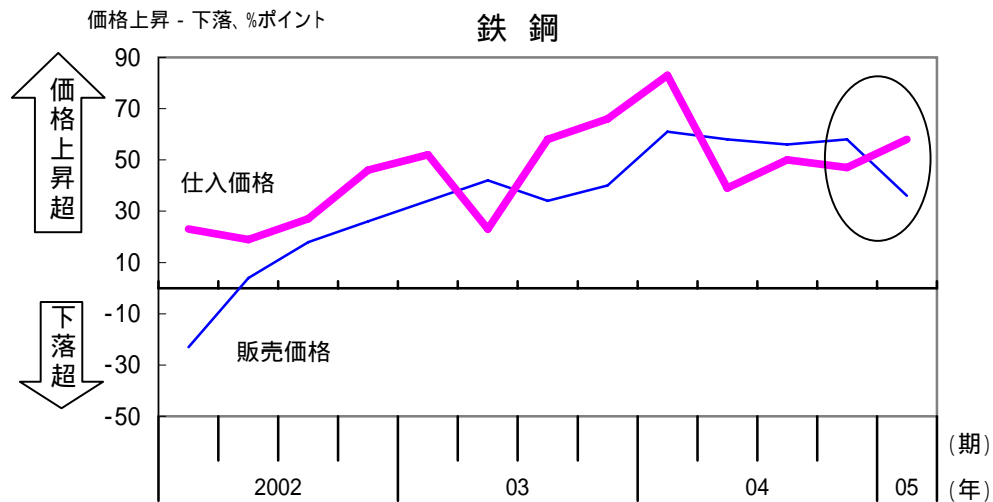
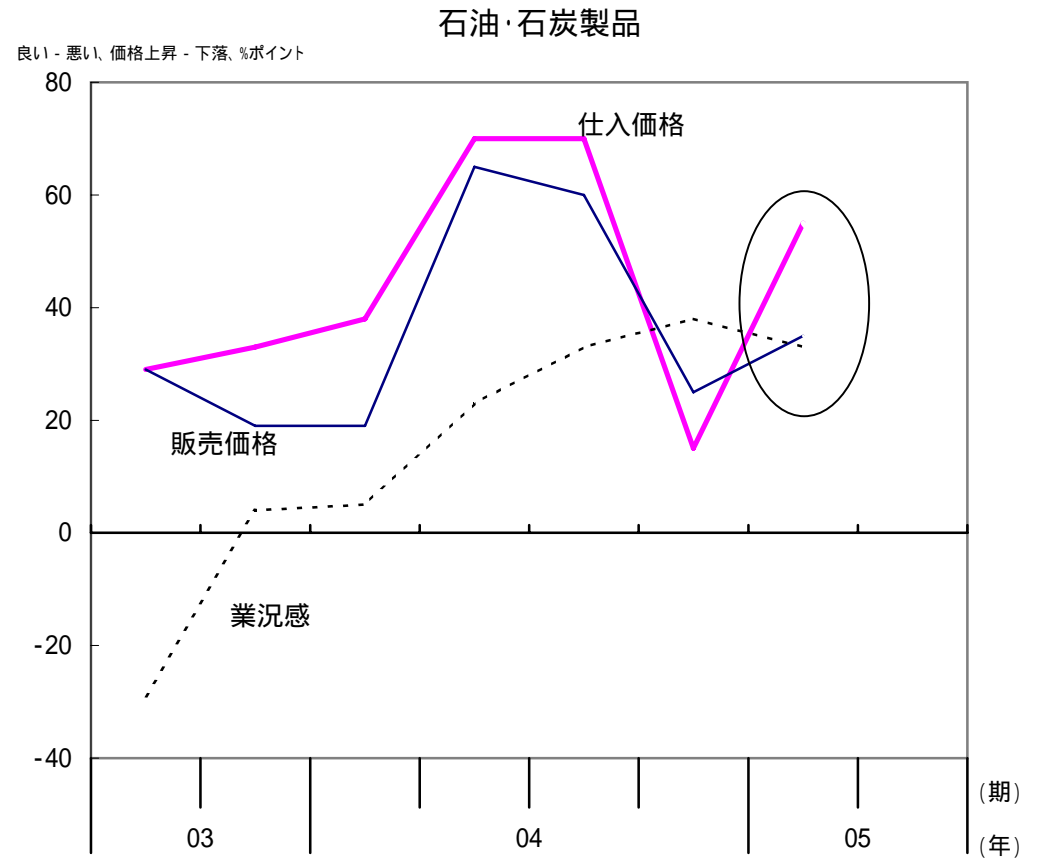
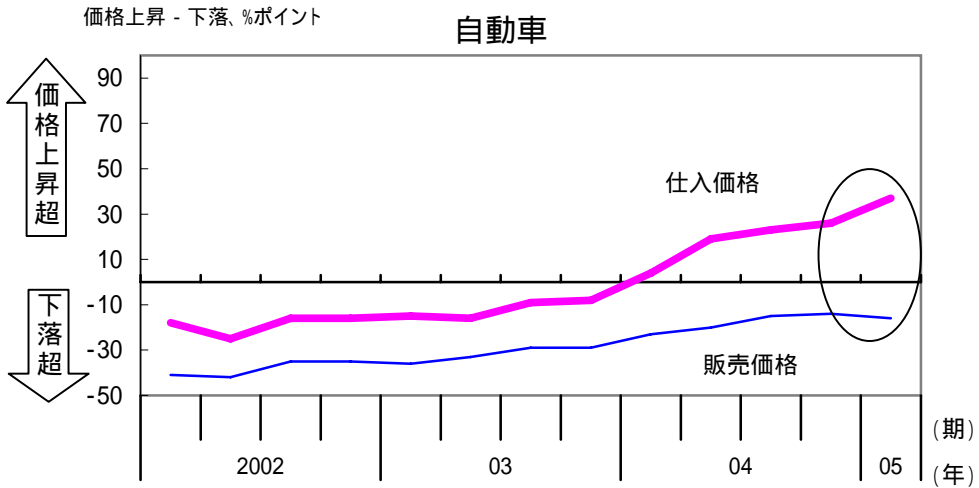


- (備考)
1. 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」05年3月調査による。
D.I.は「良い」 - 「悪い」。
 2. 大企業の値。
 3. 04年3月調査より調査方法が変更されている。

まだら模様の背景 : 素材価格の上昇

素材価格の上昇
(「価格上昇」 - 「下落」の割合)

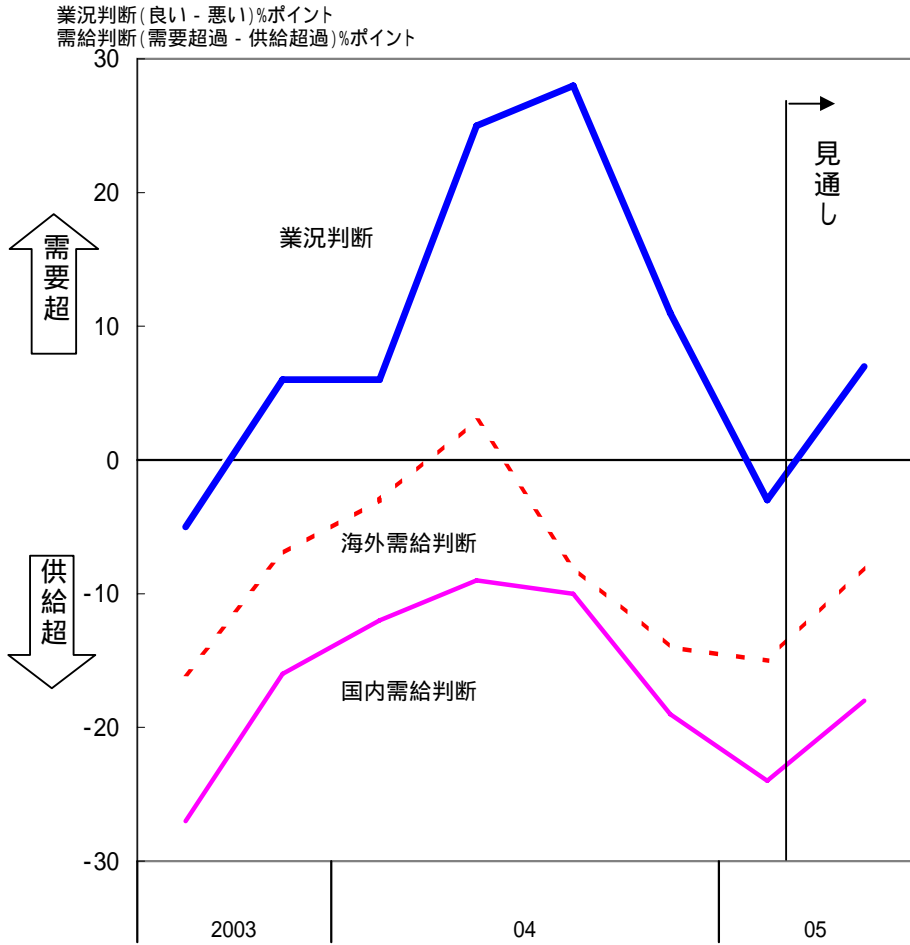
原油価格の高騰



(備考) 1. 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」により作成。
 2. グラフは大企業の数値。
 3. 04年3月調査より調査方法が変更されている。

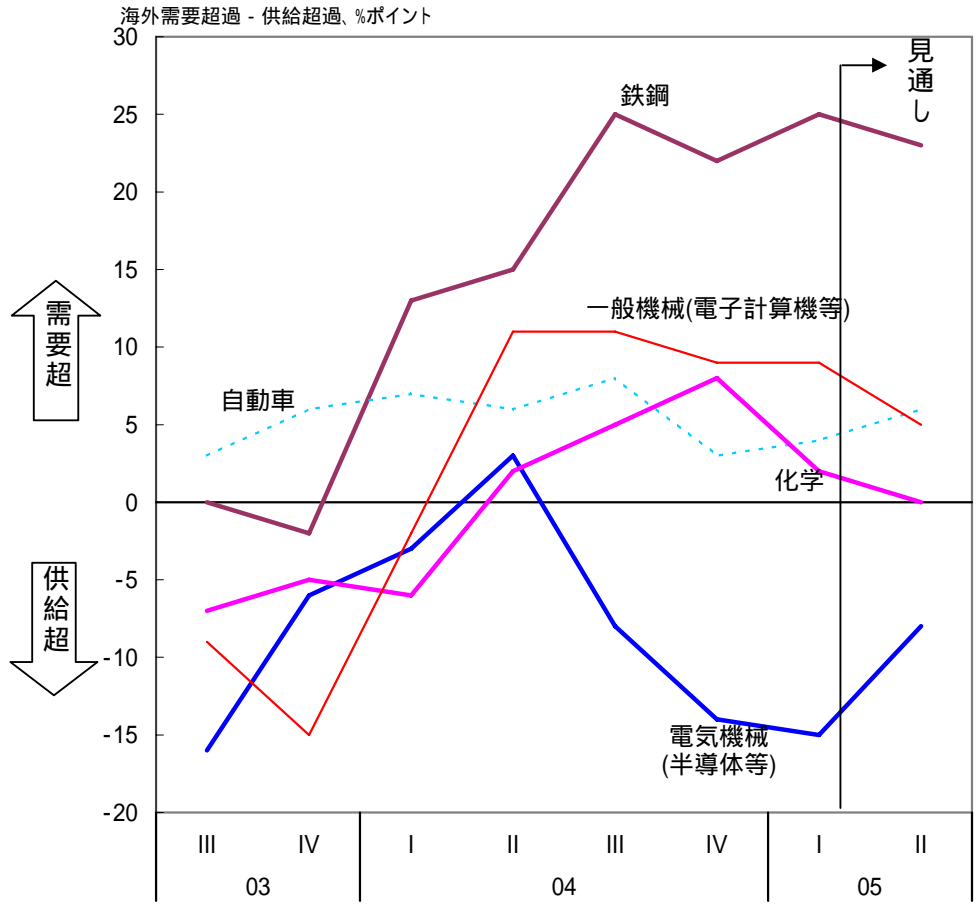
:IT関連財は復調の兆し

電気機械



:輸出の弱含み

海外「需要超過」 - 「供給超過」

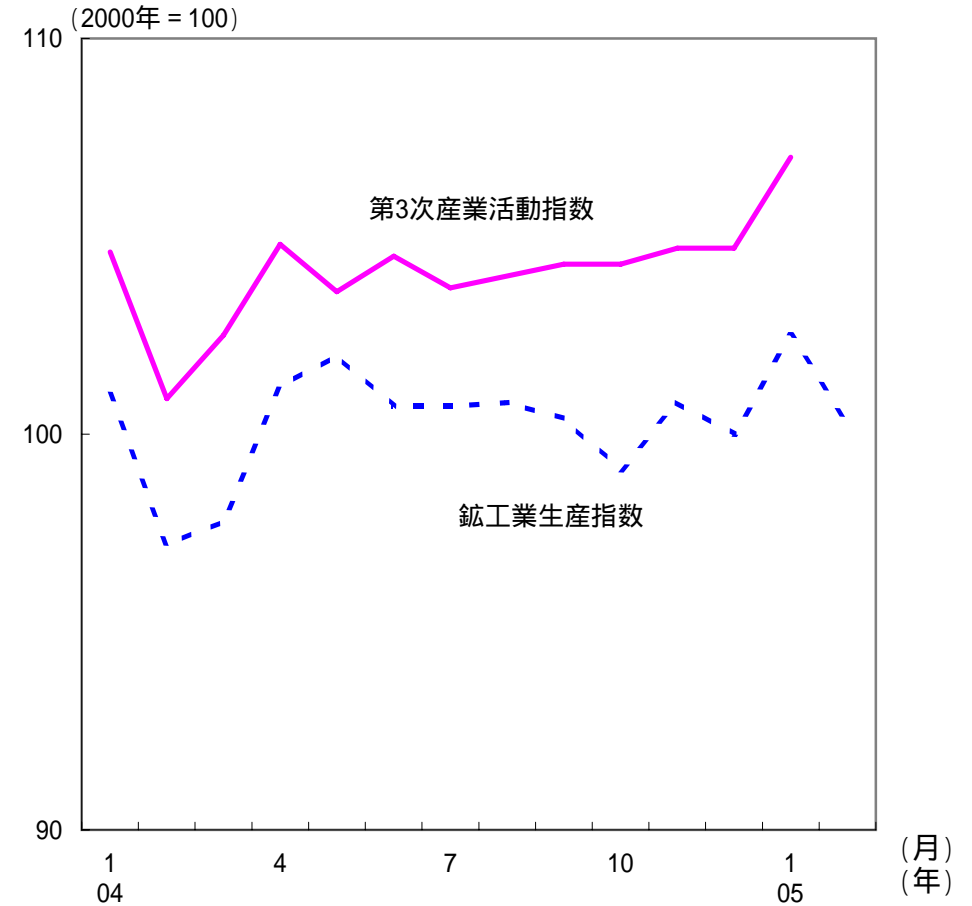
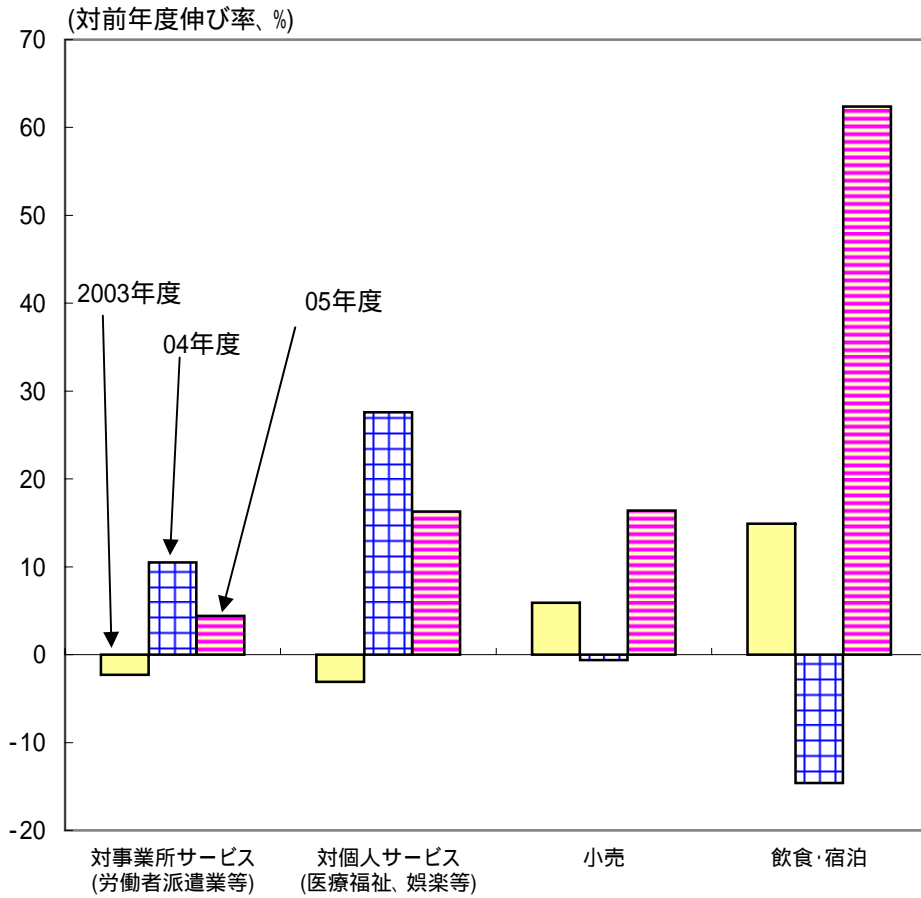


(備考) 1. 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」により作成。
2. グラフは大企業の数値。
3. 04年3月調査より調査方法が変更されている。

：堅調なサービス

個人向けサービスを中心に05年度も高い経常利益

サービス業は堅調

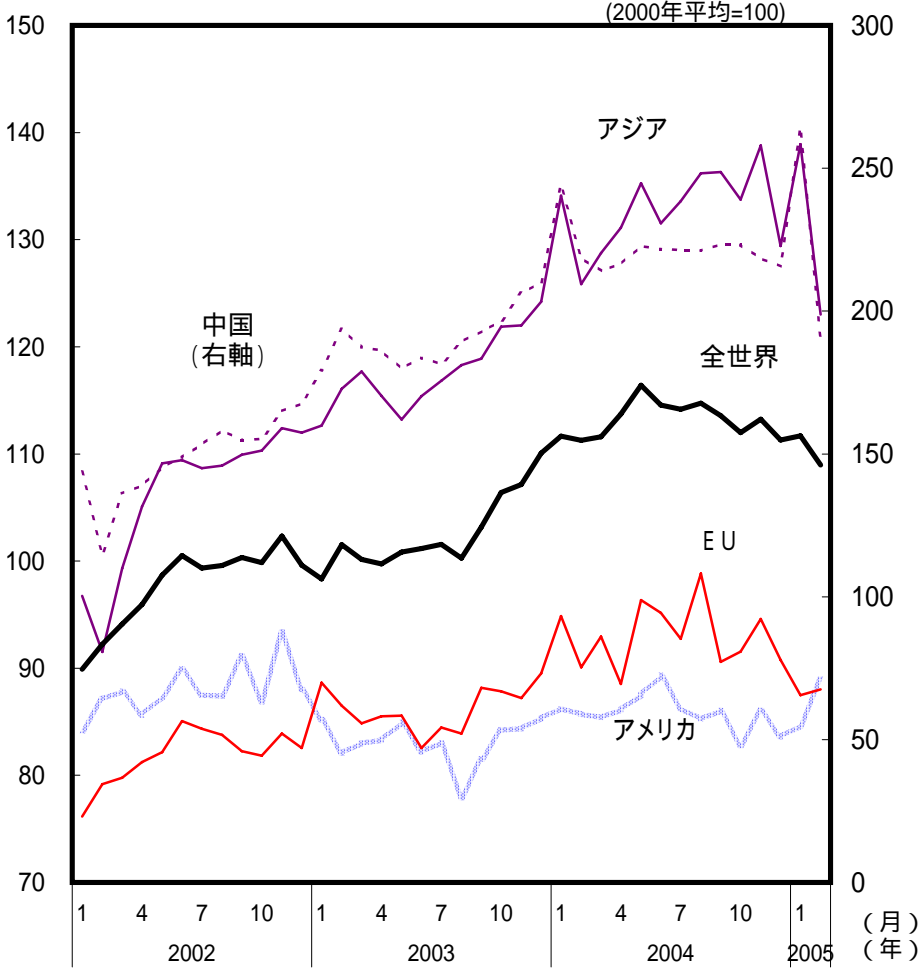


(備考) 1. 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」により作成。
2. グラフは全規模の値。

(備考) 経済産業省「第3次産業活動指数」「鉱工業指数」より。

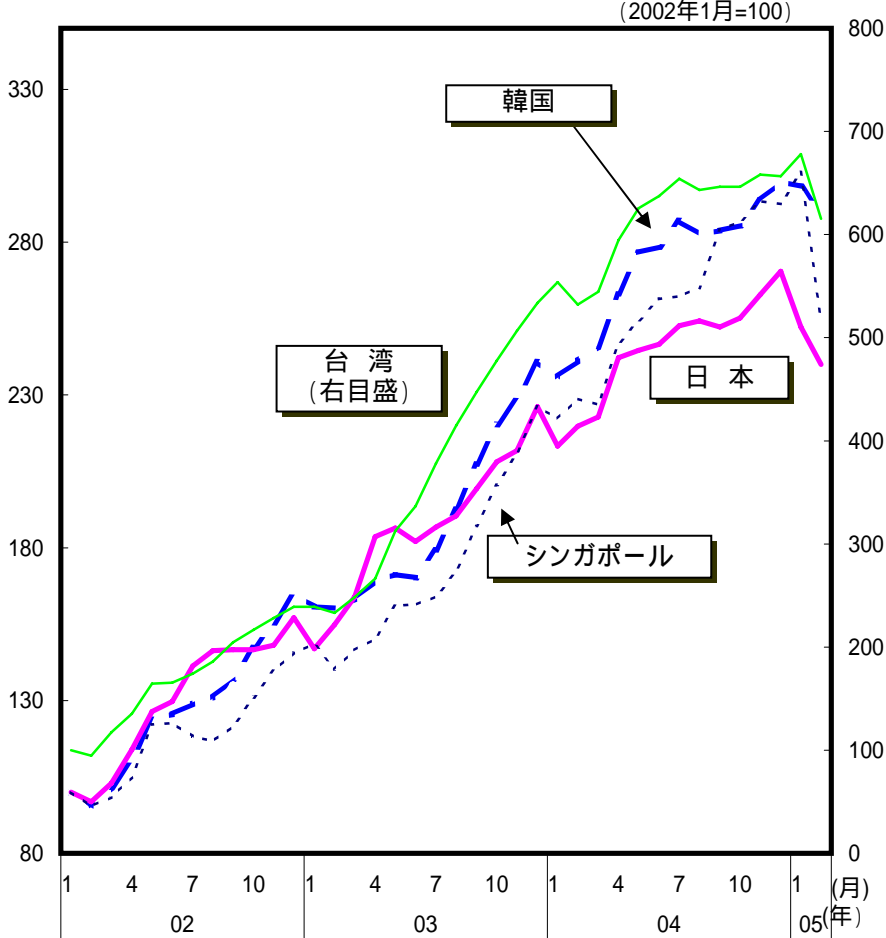
輸出は、弱含んでいる

輸出の推移



(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。
2. 数量指数の季節調整値。

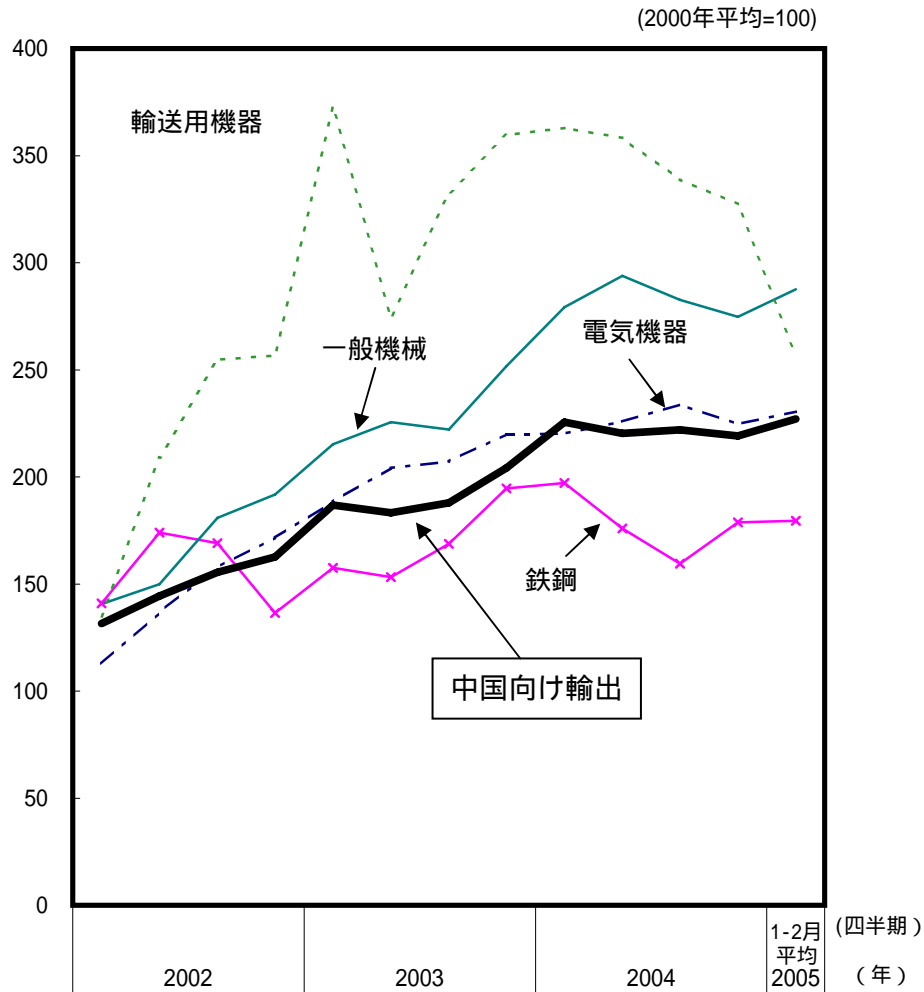
アジアから中国への輸出にみられる春節の影響



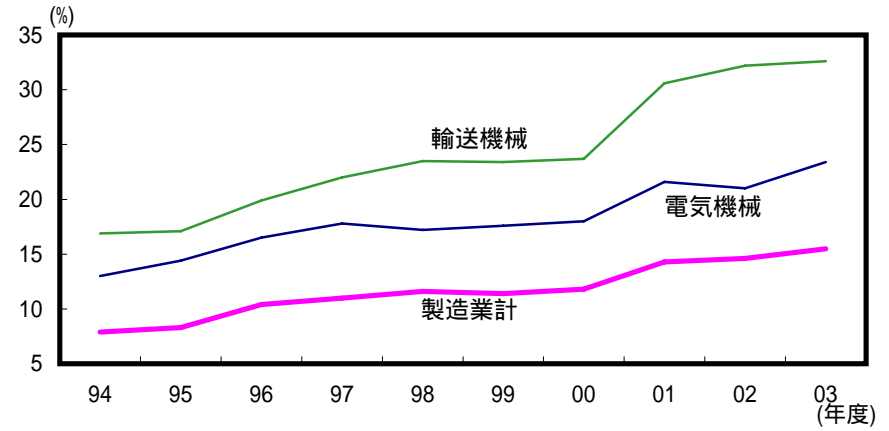
(備考) 1. 各国・地域統計より。
2. ドル建て輸出額の3か月移動平均値。

輸出弱含みの背景

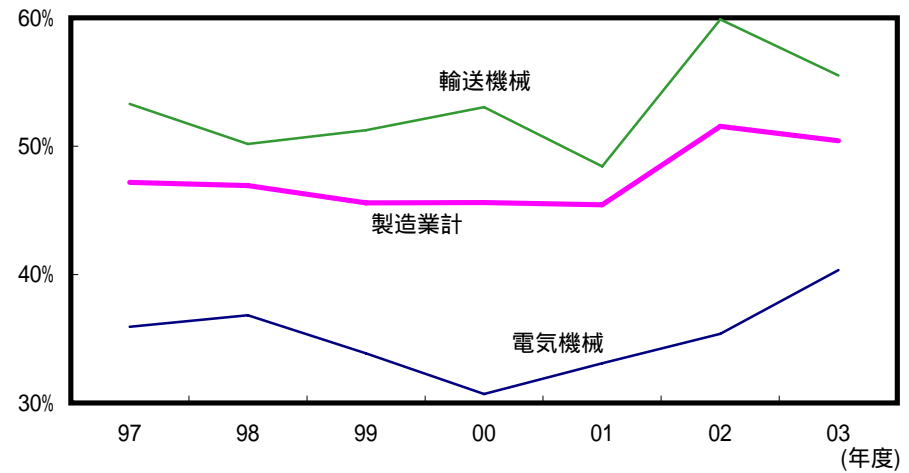
中国向け輸出は伸びが鈍化



電気機械の海外生産比率は増加



電気機械の現地調達比率は増加傾向



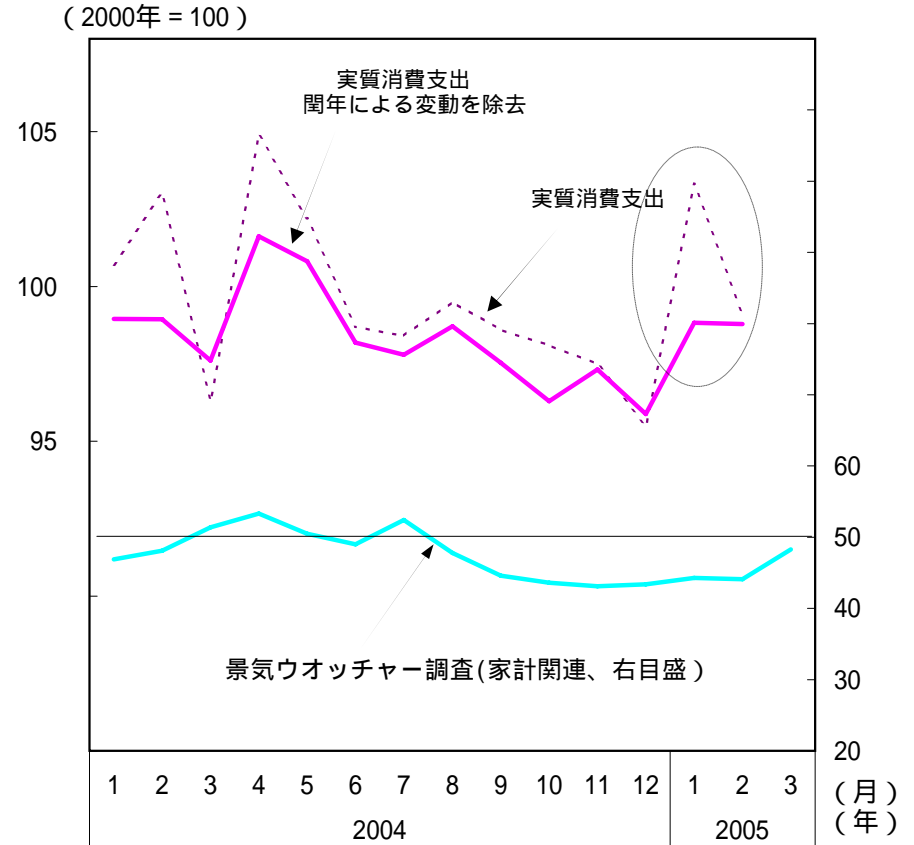
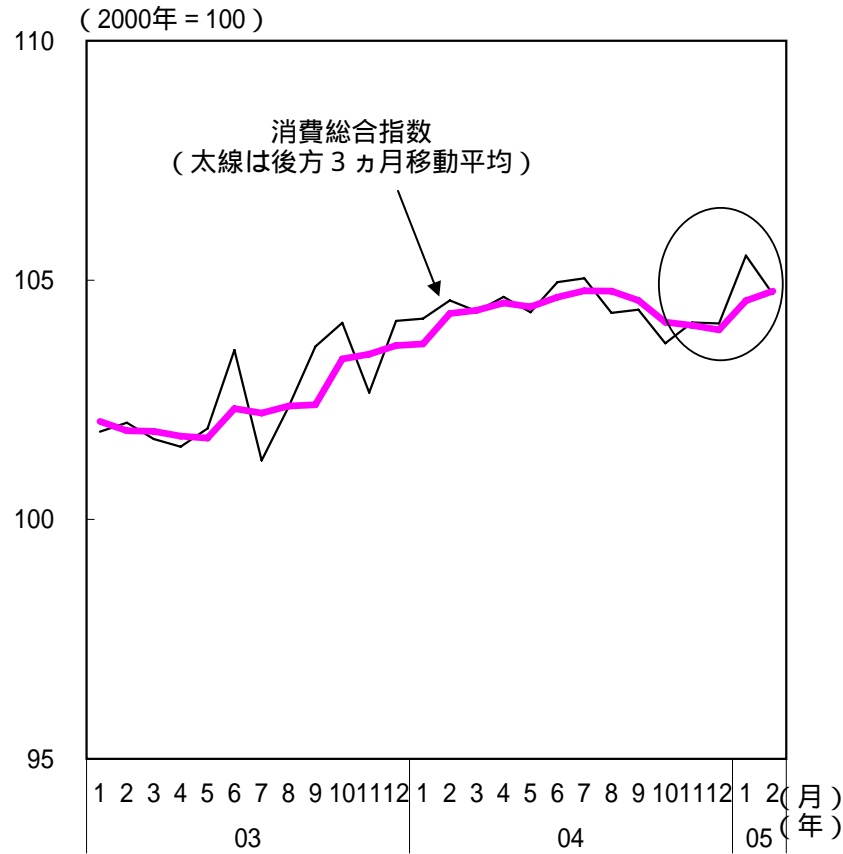
(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成(季節調整値)。
 2. 品目別数量指数は、輸出金額の季節調整値を、貿易統計価格指数で除したもので、2000年平均=100
 3. 四半期は単月の平均値。05年第1四半期は1月と2月の平均。

(備考) 経済産業省「海外事業活動基本調査」より。
 海外生産比率は国内全法人ベース

個人消費は、持ち直しの動き

2月の消費は反動減だが、底堅い動き

消費支出の基調は持ち直し



(備考)

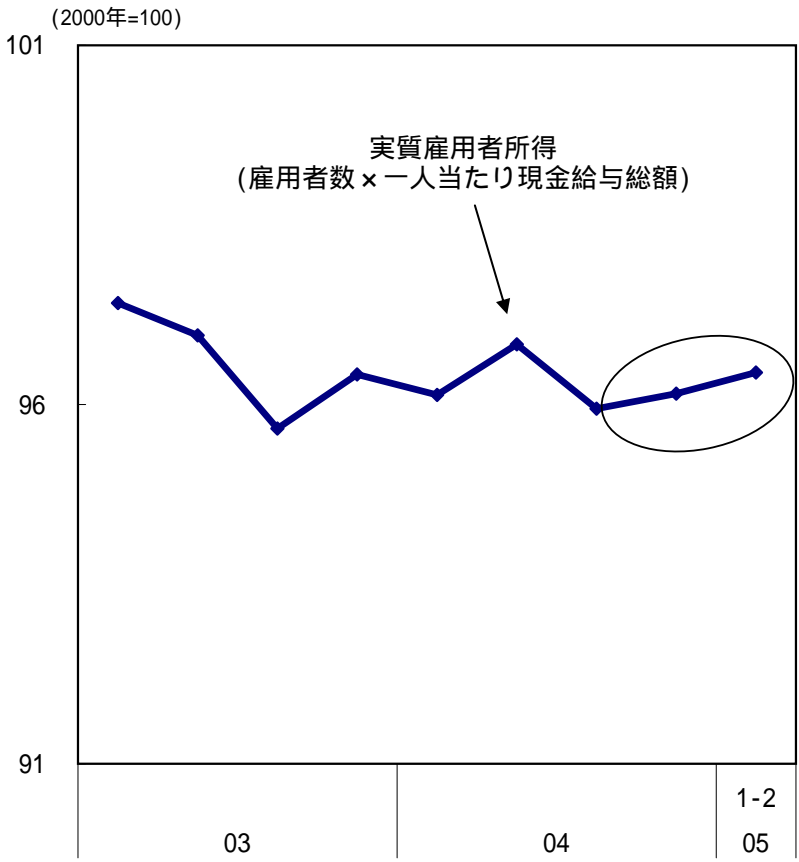
1. 消費総合指数は、内閣府(経済財政分析担当)で作成。季節調整値。

(備考)

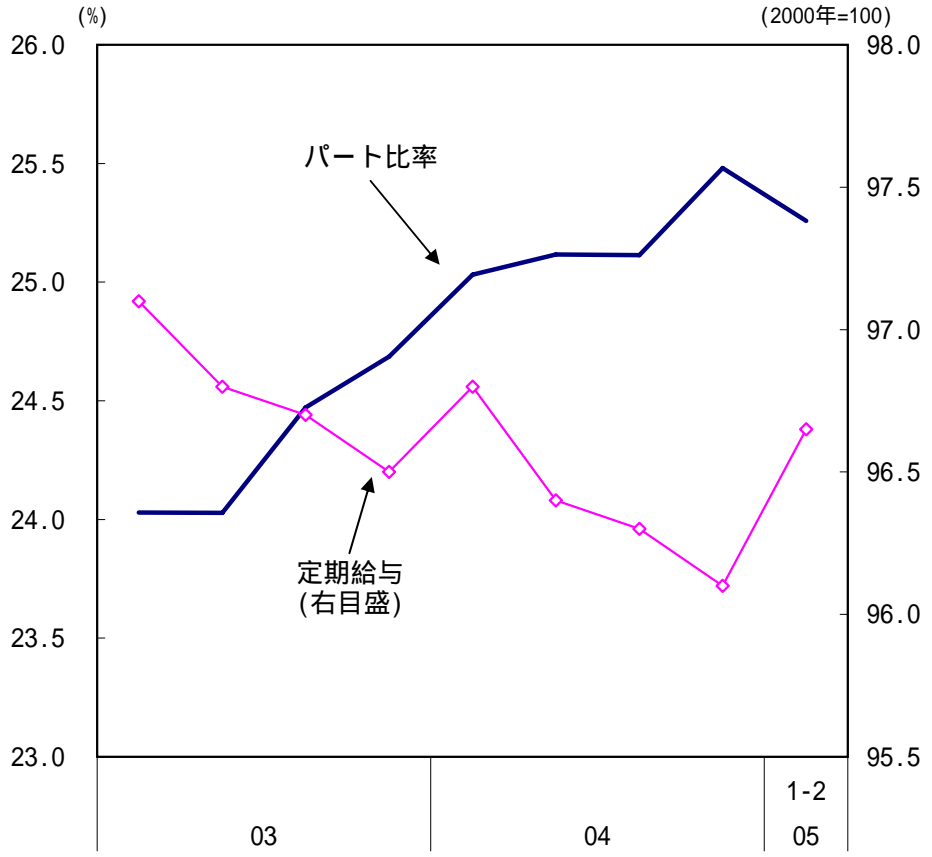
1. 実質消費支出は総務省「家計調査」より。閏年調整は内閣府で季節調整をかけ直している。
2. 家計動向の現状判断は、内閣府「景気ウォッチャー調査」の景気の現状判断DIのうち小売や飲食、サービスといった家計動向関連をまとめた結果。

個人消費は、持ち直しの動き

底堅さを増す所得



パート比率の鈍化を受けて一人当たり賃金も反転



(備考)

1. 実質雇用者所得は、現金給与総額(厚生労働省「毎月勤労統計」)と非農林業雇用者数(総務省「労働力調査」)を掛け合わせた内閣府試算値。季節調整値。

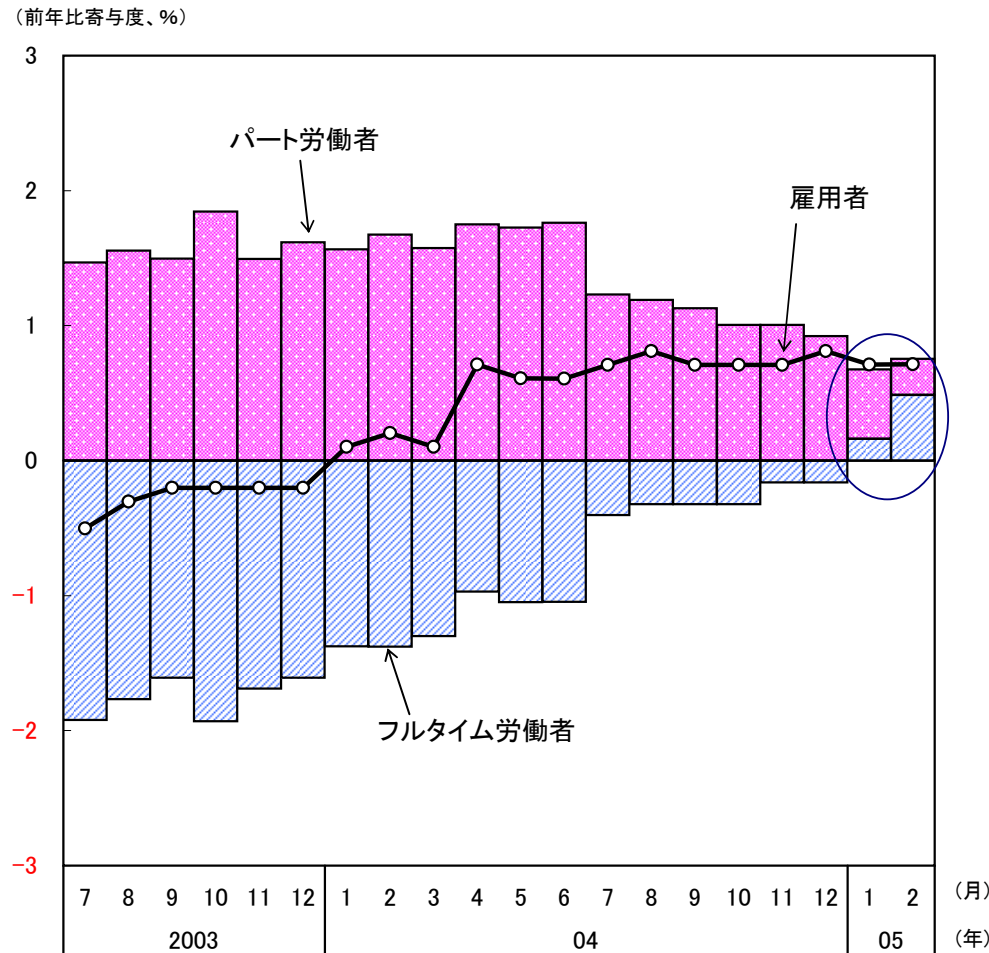
(備考)

1. 厚生労働省「毎月勤労統計調査」により作成。
2. パート比率は、一般労働者とパート労働者の季節調整値から換算。

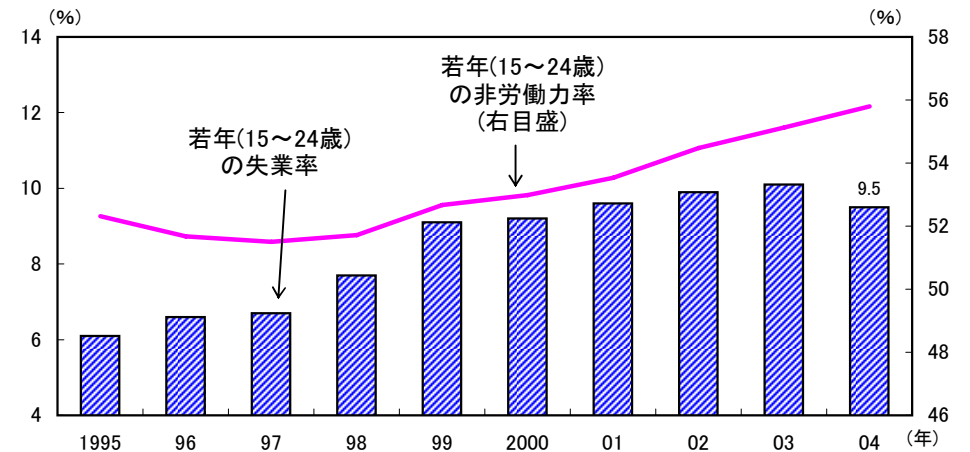
雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している①

失業率：4.7% 有効求人倍率：0.91倍

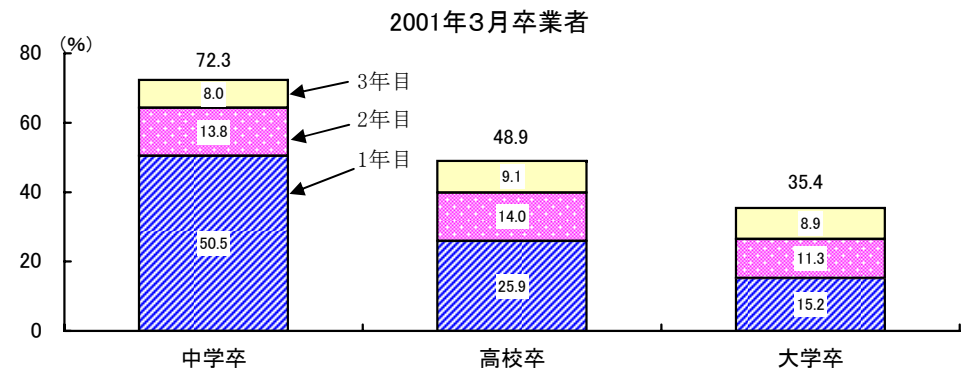
フルタイム労働者は2ヶ月連続で増加



若年の雇用は依然として厳しい



卒業後3年以内に離職する者の割合



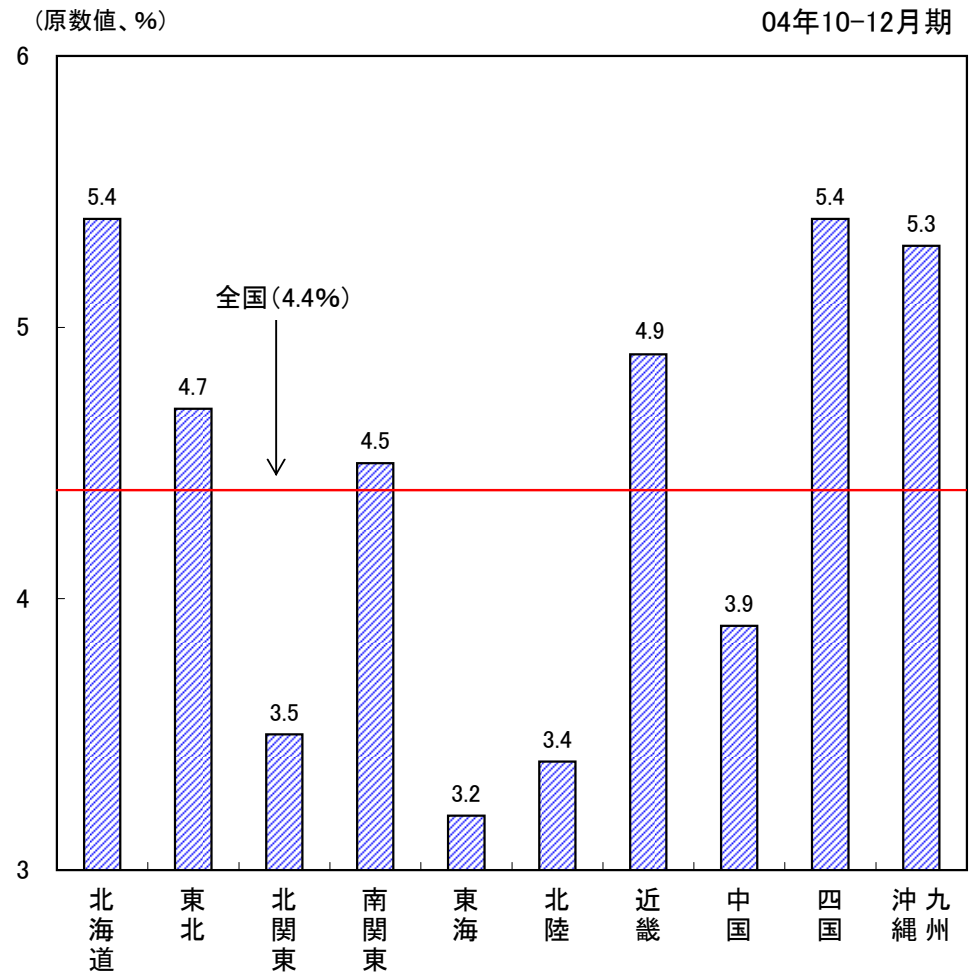
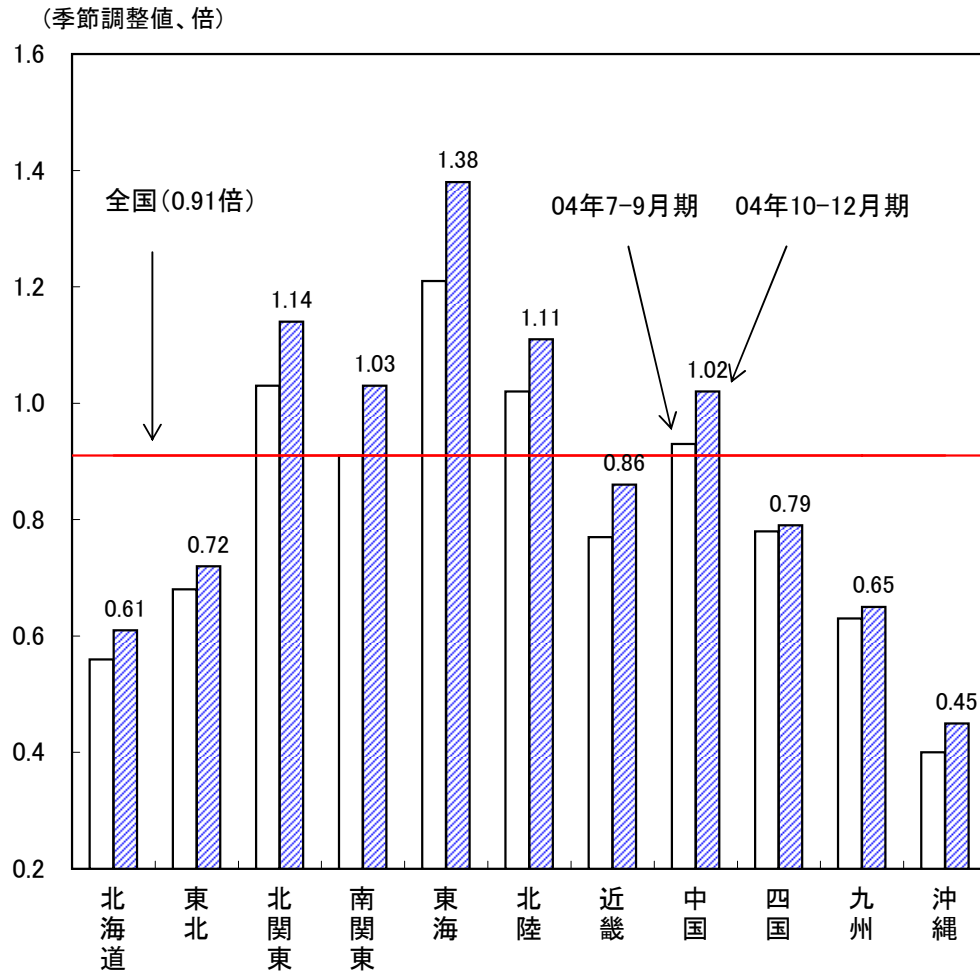
(備考) 1. 厚生労働省「毎月勤労統計調査」により作成。
2. フルタイム労働者は一般労働者のこと。

(備考) 1. 総務省「労働力調査」、厚生労働省「雇用保険被保険者記録」により作成。
2. 01年3月末に卒業し雇用保険の被保険者となった人のうち、1~3年目に離職した人の割合。
3. 四捨五入の関係で1~3年目の離職率の合計と全体の数値が一致しないことがある。

雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善している②

有効求人倍率

失業率

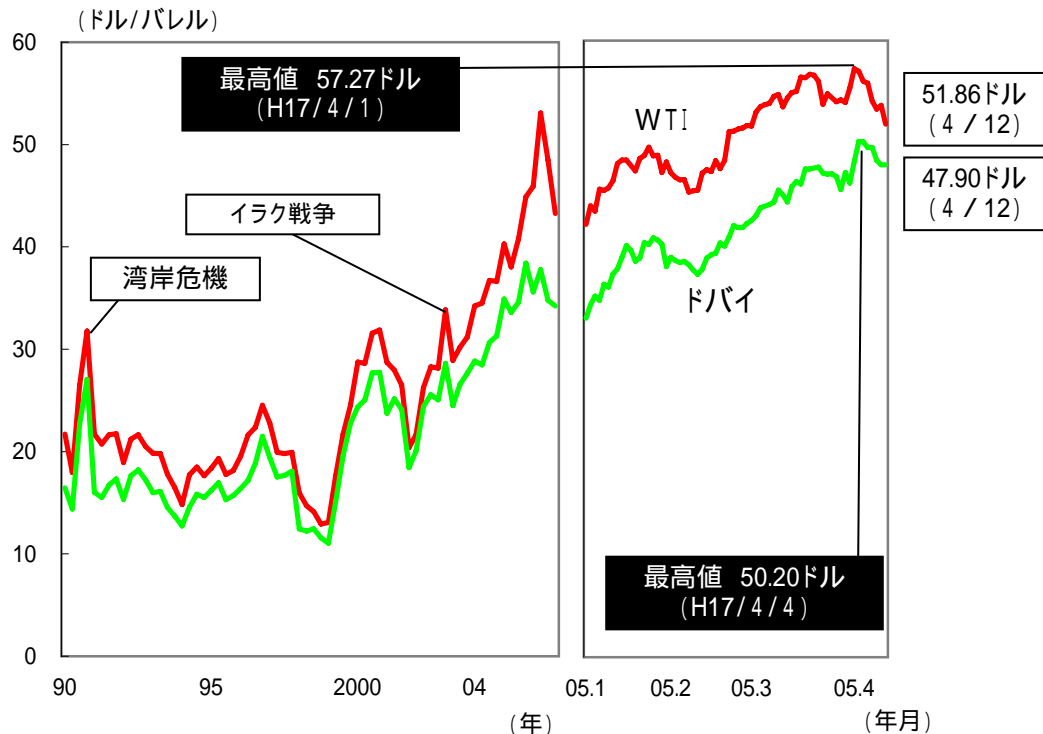


(備考) 厚生労働省「一般職業紹介状況」により作成。

(備考) 総務省「労働力調査」により作成。

原油価格の高騰

WTI、ドバイともに、最高値を更新

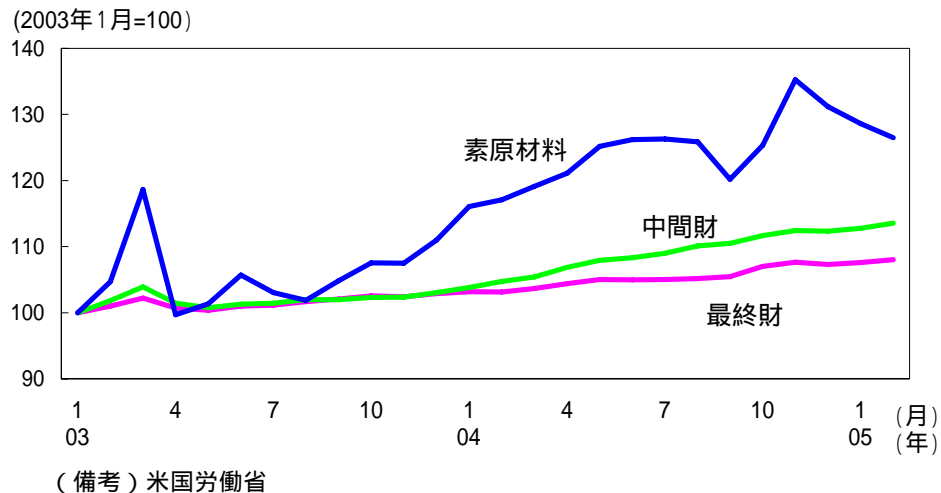


(備考) 2003年までは四半期データ、2004年は月次データ、2005年は日次データ。

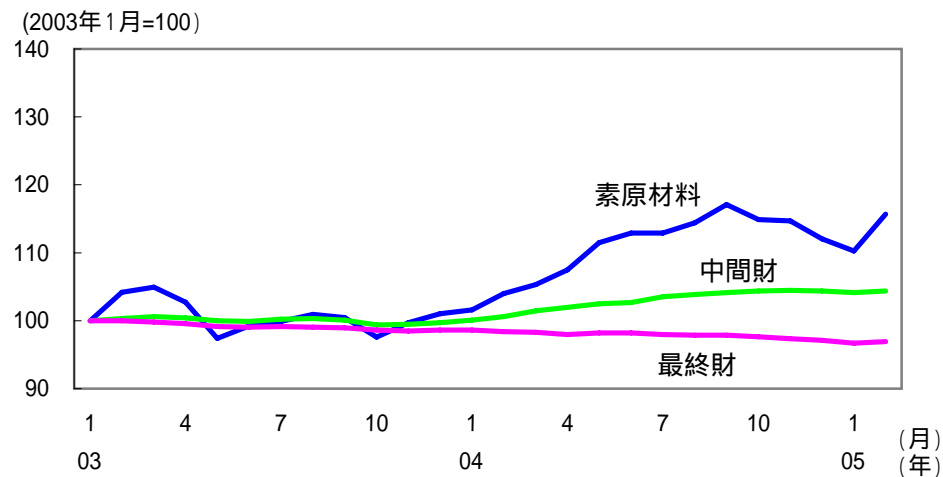
IMF世界経済見通し(2005年4月公表)

- 原油相場は引き続き 高値圏で推移し、2030年の価格は1バレル 39 56ドル(2003年ドル表示)になる見通し
- 2005年～06年の世界経済の成長率は2004年に比べ低下するが、これには原油価格の高騰も影響

米国:川下価格にも徐々に波及



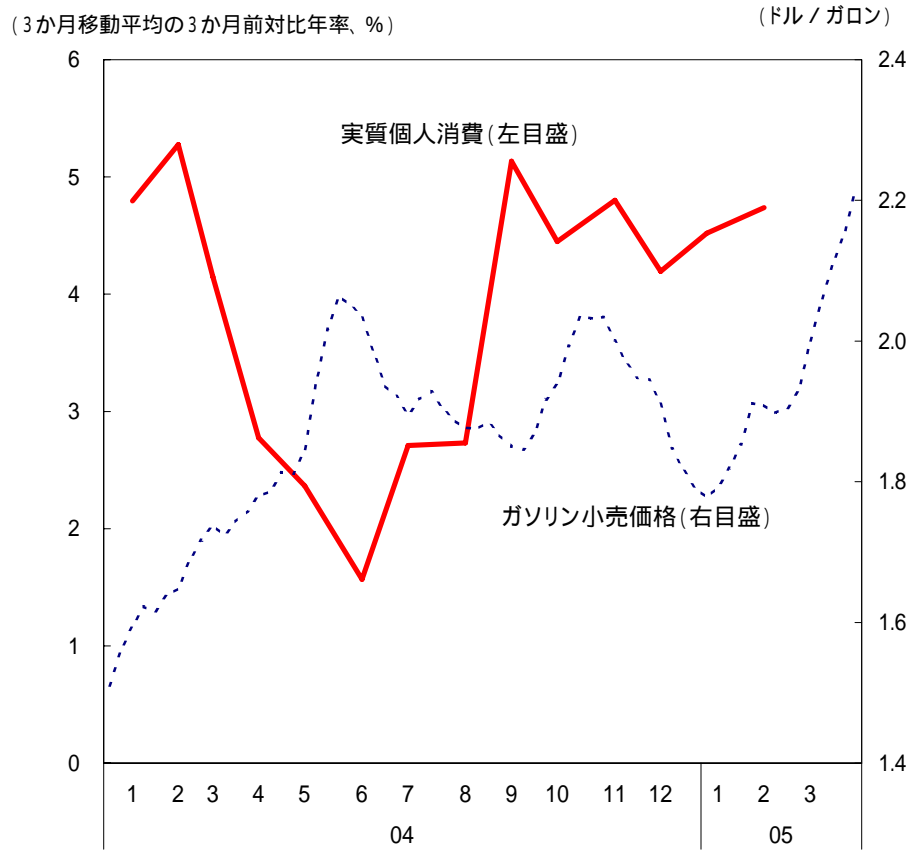
日本:川下価格は緩やかな下落が続く



(備考) 日本銀行「企業物価指数」により作成。

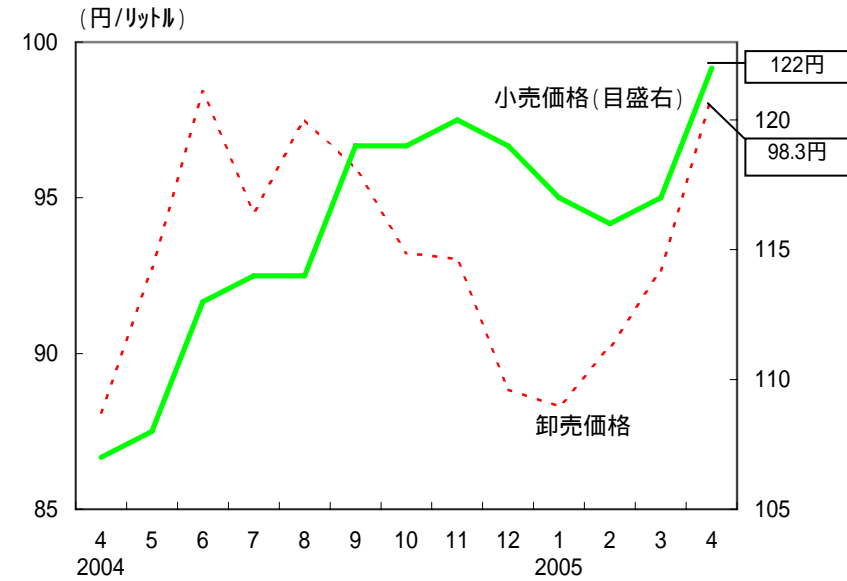
ガソリン価格の動向とその影響

米国：個人消費とガソリン価格の推移



(出所) アメリカ商務省、アメリカエネルギー省

日本：ガソリン価格の推移



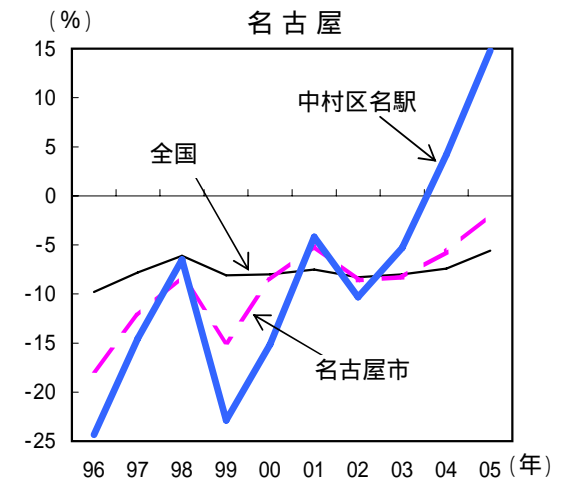
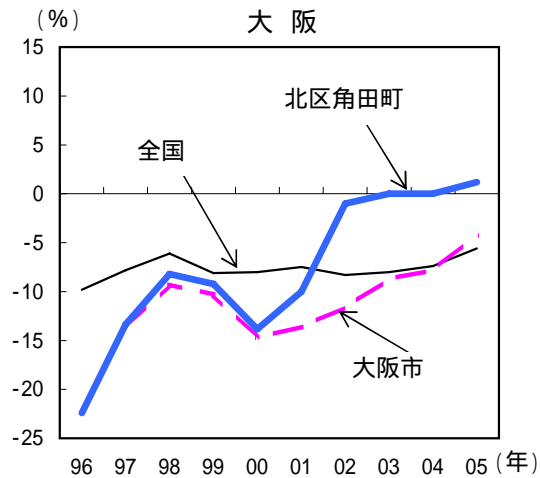
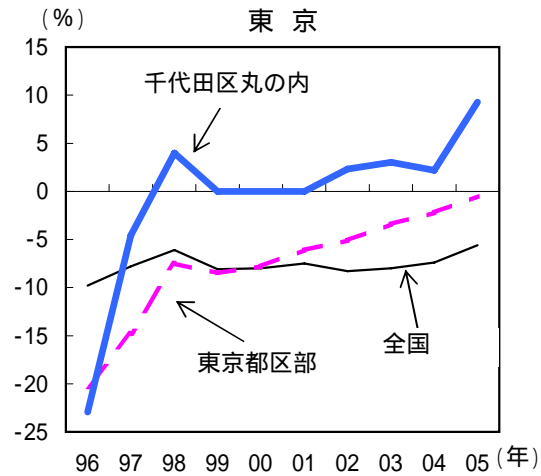
(備考) 日経NEEDS、石油情報センター調査により作成。

今後の原油価格の動向には留意が必要

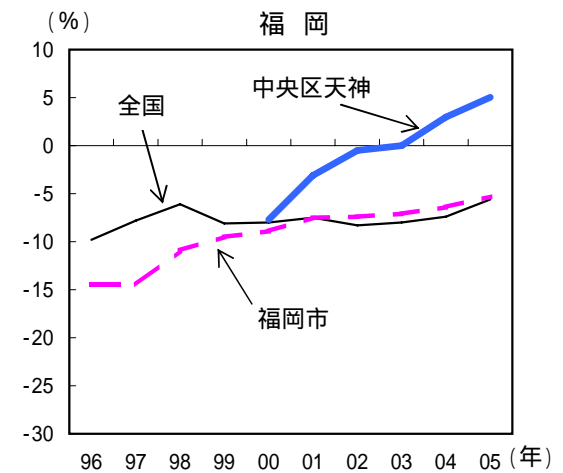
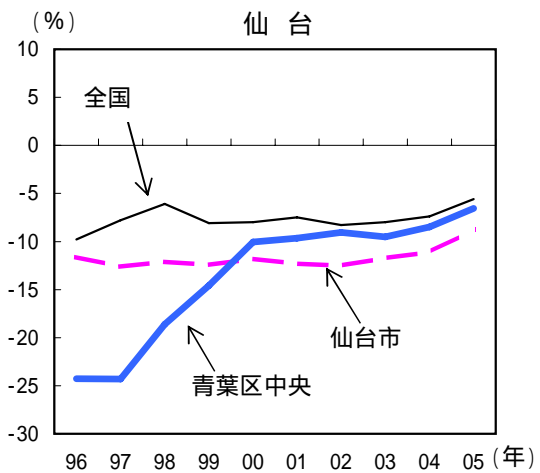
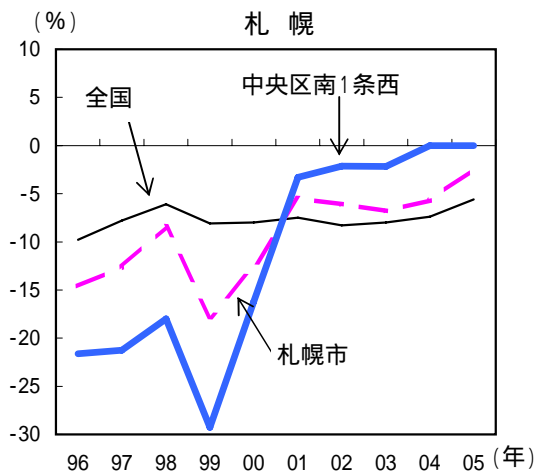
世界経済への悪影響を通じた日本経済への間接的なルートに注視

地価公示にみる商業地地価の動向

三大都市圏では下落幅の縮小。都心では高い上昇を見せる地点も。



地方都市でも下落幅が縮小。上昇の地点も。



(備考)

1. 国土交通省「地価公示」により作成。
2. それぞれ、各地域における代表的な標準地(商業地)、各都市の商業地平均および全国の商業地平均の対前年変化率を示している。
3. 各地域の代表的な標準地として、東京:東京都千代田区丸の内3-2-2、大阪:大阪府大阪市北区角田町7-10、名古屋:愛知県名古屋市中村区名駅4-6-23、札幌:北海道札幌市中央区南1条西4丁目1番1外、仙台:宮城県仙台市青葉区中央1-10-1、福岡:福岡県福岡市中央区天神1-11-11を採用。それぞれ都市再生緊急整備地域内の地点である。福岡(天神)は1999年から設定された標準地のため99年以前のデータは存在しない。

愛知万博の影響

愛知万博の経済効果

・万博による直接効果(愛知県試算)

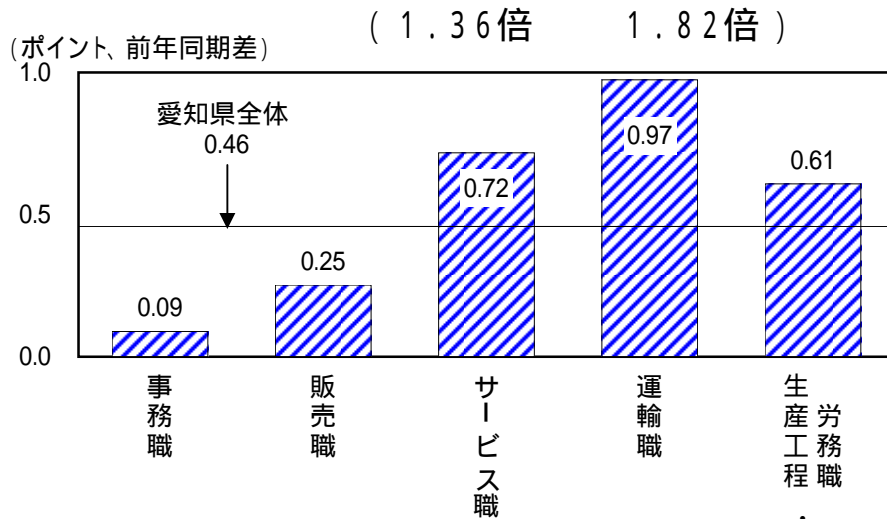
経済効果 7900億円
 就業者増 7万1千人

・2005年の旅行市場の見通し(JTB試算)

訪日外国人 710万人(16.4%増、100万人増)
 国内旅行人数 1.9%増

(備考)愛知県「2大プロジェクトの愛知県内における経済波及効果の中間試算結果」、JTB「2005年の旅行動向見通し」により作成。

愛知県の有効求人倍率の伸び



(備考)愛知労働局「最近の労働市場」「求人・求職バランスシート」により作成。原数値。職業別有効求人倍率の前年同期差(2005年1~2月)。

他地域への影響(景気ウォッチャー調査(3月))

(北海道、旅行代理店)

愛知万博の影響で国内旅行が上向いている

(南関東、旅行代理店)

非常に高単価にもかかわらず、万博に行こうとする客が増加

(近畿、百貨店)

愛知万博のオフィシャルショップは売上が予算を大幅越え、百貨店本体の苦戦をカバーして前年並みの推移になる

(北陸、観光型旅館)

愛知万博の影響で4月からの売上が伸びない

(四国、観光型旅館)

宿泊客が昨年と比べ大幅減、予約状況も余り良くない。万博の影響で四国への客が減っていることが考えられる。



万博関連ビジネス

「モリゾーとキッコロ」関連商品は開催期間中に5000種類超、売上は600億円を越える見込み

絵本「もりのこえ」は20万部超え。英語、中国語版も発売に。

(備考)各種新聞報道等による。